

日本企業振興協同組合から組合員の皆様へ、お役立ち情報や研修のご案内などをお知らせいたします。

TOPICS

職場における熱中症対策の強化について

熱中症の予防についてのリーフレット(各国語版)の活用を

熱中症リスクの高い時期を迎えていますが、職場における熱中症対策の強化を主なポイントとする改正労働安全衛生規則が6月1日に施行されたことはご存じでしょうか。

この改正では、熱中症の重篤化を防止するため、熱中症の自覚症状がある者や熱中症のおそれがある者を見つけた者がその旨を報告するための「体制整備」、熱中症のおそれがある者を見つけた場合に迅速かつ的確に必要な措置を実施するための「手順作成」、体制及び手順の「関係者への周知」が事業者には義務付けられています。

改正の詳細については、以下の厚生労働省HPに記載されていますので、義務付けられている内容等についてご確認の上、必要なお対応をお願いいたします。技能実習生が安心して技能実習を行うことができるよう、監理団体の皆様におかれましては、実習実施者に対して熱中症対策及び技能実習生に対する注意喚起の徹底について周知していただきますようお願いいたします。

実習実施者の皆様におかれましては、熱中症対策をしていただくと同時に、技能実習生に対しての注意喚起についても徹底していただきますようお願いいたします。

なお、技能実習生へ周知いただく際には、下記多言語リーフレットの活用などもご案内いただければと思います。

外国人技能実習機構においても、6月10日、技能実習生手帳アプリにて熱中症に対する注意喚起を行ってまいりますので、その旨併せて周知していただけますと幸いです。

○熱中症予防のためのリーフレット(各国語)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pamph.html



○一般的な熱中症対策については、次のサイトをご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/



引き続き、安全な技能実習環境の確保のため、ご協力をお願いいたします。

〈外国人技能実習機構サイトより〉

MEMO

ビジネスひと口メモ

傾聴の3原則

アメリカの心理学者が提唱した、傾聴における大切な3つの考え方です。

「共感的理解」相手の立場に立って、相手に共感しながら話を理解する／「無条件の肯定的関心」相手の話を善悪や好き嫌いで判断せずに聴く／「自己一致」自分も相手もお互いにありのままの状態です。

～あるガン患者の家族の話～

元気だったご主人にガンが見つかった際、すでに末期だった。様々な薬で治療しているが、回復の兆しが見えず、悲しみに暮れる妻。この妻は看護師さんに何度も何度も「今使っている薬は本当に効くの？」と質問をします。看護師さんは毎回同じ説明をするしかできず、同じ会話が繰り返されていました。

ある時ベテランの医師にその妻が、「先生、主人に薬は効くのでしょうか？」と質問をすると、「奥さん、辛いね・・・」と一言返答。その場で泣き崩れ、それ以降はその質問をしなくなりました。

つまり、この妻は質問をすることに意味がないことはわかっていました。辛い気持ちをわかってほしかった(共感)だけなのかもしれません。

INFO

① 事務局より

組合員企業の実習生が表彰されました!

岡山県外国人技能実習生受入組合協議会より、U社のアレルさん(インドネシア)が「令和7年度優秀外国人技能実習生」として表彰されました。アレルさんは日本語検定2級に合格するなど、意欲的に日本での就業に取り組まれています。



アレルさんの声です。

「今回表彰は想像もしませんでしたがすごく嬉しいです。これもサポートしてくれている皆様のおかげです。日本が大好きなので技能実習満了後は特定技能として、日本には長くいたいと思っていますので、今回の表彰をうけて「倒れず諦めず前に進むのみ!」の気持ちでこれからも頑張りたいです。ありがとうございました。」